

SELF-HOSTING > インストール&デプロイガイド >

Linux標準デプロイメント

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/install-on-premise-linux/>

Linux標準デプロイメント

この記事では、自分のLinuxサーバーにBitwardenをインストールしてデプロイする手順を説明します。BitwardenはWindowsマシンにもインストールして展開することができます。Bitwardenソフトウェアリリースサポートのドキュメンテーションをご確認ください。

システム仕様

	最小限	おすすめ
プロセッサ	x64、1.4GHz	x64、2GHzデュアルコア
記憶	2GB RAM	4GB RAM
ストレージ	12GB	25GB
Dockerバージョン	エンジン19+およびコンポーズ1.24+	エンジン19+とコンポーズ1.24+

💡 Tip

手頃な価格で質の高いサービスを提供する企業をお探しであれば、DigitalOceanをお勧めします。今日から始めましょう、または私たちのDigitalOcean上のBitwardenについてのブログ投稿を読んでください。

要約すると

この記事におけるインストール手順の概要は次のとおりです。このセクションのリンクは、詳細なインストール手順セクションにジャンプします。

- ドメインを構成します。あなたのマシンを指すドメイン名のDNSレコードを設定し、マシンの80番と443番のポートを開きます。
- マシンにDockerとDocker Composeをインストールします。
- インストールを完了するためのBitwardenユーザーとディレクトリを作成します。
- インストールに使用するために、<https://bitwarden.com/host>からインストールIDとキーを取得してください。
詳細については、[インストールIDとインストールキーは何に使われますか？](#)をご覧ください。
- マシンにBitwardenをインストールします。
- `./bwdata/env/global.override.env`の設定を調整して環境を構成します。

💡 Tip

少なくとも、`globalSettings__mail__smtp...`変数を設定して、ユーザーを招待し確認するためのメールアドレスサーバーを設定してください。

7. インスタンスを開始します。
8. 設定したドメインをウェブブラウザで開いて、インストールをテストしてください。
9. デプロイしたら、定期的にサーバーのバックアップを取り、システムの更新を確認することをお勧めします。

インストール手順

あなたのドメインを設定してください

デフォルトでは、Bitwardenはホストマシンのポート80 ([http](#)) および443 ([https](#)) を通じて提供されます。これらのポートを開けて、ネットワーク内部および/または外部からBitwardenにアクセスできるようにしてください。インストール中に異なるポートを選択することもできます。

インターネット経由でBitwardenを提供している場合、特に、ホストマシンを指すDNSレコードを持つドメイン名（例: [bitwarden.example.com](#)）を設定することをお勧めします。

DockerとDocker Composeをインストールしてください。

Bitwardenは、一連のDockerコンテナを使用して、あなたのマシンにデプロイされ、実行されます。Bitwardenは、どのDockerエディションやプランでも実行できます。あなたのインストールに最適な版を評価してください。

コンテナのデプロイメントは、[Docker Compose](#)を使用してオーケストレーションされます。一部のDockerインストール、macOS用Dockerを含む、はすでにDocker Composeがインストールされています。

インストールを進める前に、あなたのマシンにDockerとDocker Composeをインストールしてください。

次のDockerのドキュメントを参照してヘルプを得てください:

- [Dockerエンジンをインストールします](#)
- [Docker Composeをインストールします](#)

Bitwardenローカルユーザー&ディレクトリを作成する

私たちは、Bitwardenをインストールして実行するための専用の[Bitwarden](#) サービスアカウントを持つLinuxサーバーを設定することをお勧めします。これにより、サーバー上で実行されている他のアプリケーションからBitwardenインスタンスが隔離されます。

これらのステップはBitwardenが推奨するベストプラクティスですが、必須ではありません。詳細については、DockerのLinux用のインストール後の手順のドキュメンテーションをご覧ください。

1. Bitwardenユーザーを作成する:

Bash

```
sudo adduser bitwarden
```

2. Bitwardenユーザーのパスワードを設定します（強力なパスワード）:

```
Bash
```

```
sudo passwd bitwarden
```

3. Dockerグループを作成します（まだ存在しない場合）：

```
Bash
```

```
sudo groupadd docker
```

4. Bitwardenユーザーをdockerグループに追加します：

```
Bash
```

```
sudo usermod -aG docker bitwarden
```

5. Bitwardenディレクトリを作成します：

```
Bash
```

```
sudo mkdir /opt/bitwarden
```

6. `/opt/bitwarden`ディレクトリの権限を設定します：

```
Bash
```

```
sudo chmod -R 700 /opt/bitwarden
```

7. `/opt/bitwarden`ディレクトリの所有者としてBitwardenユーザーを設定します：

```
Bash
```

```
sudo chown -R bitwarden:bitwarden /opt/bitwarden
```

Bitwardenをインストールします

⚠ Warning

あなたがBitwardenユーザー&ディレクトリを作成した場合、`bitwarden`ユーザーとして`/opt/bitwarden`ディレクトリから以下を完了してください。インストール中に問題が発生する可能性があるため、**Bitwarden**をrootとしてインストールしないでください。

Bitwardenは、LinuxとWindows (PowerShell) への簡単なインストールのためのシェルスクリプトを提供しています。次の手順を完了して、シェルスクリプトを使用してBitwardenをインストールします：

1. Bitwardenのインストールスクリプト (bitwarden.sh) をあなたのマシンにダウンロードしてください：

Bash

```
curl -Lso bitwarden.sh "https://func.bitwarden.com/api/dl/?app=self-host&platform=linux" && chmo  
d 700 bitwarden.sh
```

2. インストーラースクリプトを実行してください。 `./bwdata`ディレクトリは、`bitwarden.sh`の位置に対して相対的に作成されます。

Bash

```
./bitwarden.sh install
```

3. インストーラーのプロンプトを完了させてください:

- **あなたのBitwardenインスタンスのドメイン名を入力してください：**

通常、この値は設定されたDNSレコードであるべきです。

- **Let's Encryptを使用して無料のSSL証明書を生成しますか？ (はい/いいえ):**

`y`を指定して、Let's Encryptを使用して信頼性のあるSSL証明書を生成します。Let's Encryptからの有効期限のリマインダーのために、メールアドレスを入力するように求められます。詳細については、[証明書のオプション](#)をご覧ください。

あるいは、`n`を指定し、**SSL証明書を使用するためのオプション**を使用しますか？

- **あなたのインストールIDを入力してください：**

有効なメールアドレスを使用して、<https://bitwarden.com/host>でインストールIDを取得してください。詳細については、[インストールIDとインストールキーは何に使われますか？](#)をご覧ください。

- **あなたのインストールキーを入力してください：**

有効なメールアドレスを使用して、<https://bitwarden.com/host>でインストールキーを取得してください。詳細については、[インストールIDとインストールキーは何に使われますか？](#)をご覧ください。

- **SSL証明書をお持ちですか？ (はい/いいえ):**

すでに自分自身のSSL証明書を持っている場合は、`y`を指定し、必要なファイルを `./bwdata/ssl/your.domain` ディレクトリに配置してください。それが信頼できるSSL証明書であるかどうか尋ねられます (はい/いいえ)。詳細については、[証明書のオプション](#)をご覧ください。

あるいは、`n`を指定し、テスト目的のみに推奨される**自己署名SSL証明書?**オプションを使用しますか？

- **自己署名SSL証明書を生成しますか？ (はい/いいえ):**

Bitwardenが自己署名証明書を生成するように`y`を指定してください。このオプションはテスト用にのみ推奨されます。詳細については、[証明書のオプション](#)をご覧ください。

あなたが`n`を指定すると、あなたのインスタンスはSSL証明書を使用せず、HTTPSプロキシをインストールの前に設定するか、それ以外の場合はBitwardenアプリケーションは正常に機能しません。

インストール後の設定

あなたの環境を設定するには、2つのファイル、つまり環境変数ファイルとインストールファイルに変更を加えることが含まれます。

環境変数（必須）

Bitwardenの一部の機能は`bitwarden.sh`スクリプトによって設定されていません。これらの設定を、`./bwdata/env/global.override.env`に位置する環境ファイルを編集することで設定します。少なくとも、以下の値を置き換えるべきです:

Bash

```
...
globalSettings__mail__smtp__host=<placeholder>
globalSettings__mail__smtp__port=<placeholder>
globalSettings__mail__smtp__ssl=<placeholder>
globalSettings__mail__smtp__username=<placeholder>
globalSettings__mail__smtp__password=<placeholder>
...
adminSettings__admins=
...
```

`globalSettings__mail__smtp...=`のプレースホルダーを置き換えて、新規ユーザーへの確認メールや組織への招待をSendするために使用されるSMTPメールサーバーに接続します。`adminSettings__admins=`にメールアドレスを追加すると、システム管理者ポータルへのアクセスが設定されます。

編集後に`global.override.env`、以下のコマンドを実行して変更を適用します:

Bash

```
./bitwarden.sh restart
```

インストールファイル

Bitwardenのインストールスクリプトは`./bwdata/config.yml`の設定を使用して、インストールに必要なアセットを生成します。一部のインストールシナリオ（代替ポートを使用したプロキシ経由のインストールなど）では、標準インストール時に提供されなかった`config.yml`への調整が必要になる場合があります。

必要に応じて`config.yml`を編集し、変更を適用するために次のコマンドを実行してください:

Bash

```
./bitwarden.sh rebuild
```

Bitwardenを開始します

すべての前のステップが完了したら、Bitwardenインスタンスを開始します:

Bash

```
./bitwarden.sh start
```

Note

初めてBitwardenを起動すると、Docker Hubからすべての画像をダウンロードするため、時間がかかる場合があります。

すべてのコンテナが正しく動作していることを確認してください。

Bash

```
docker ps
```

```
bitwarden@bitwarden:/opt/bitwarden$ docker ps
CONTAINER ID   IMAGE                                COMMAND                  CREATED        STATUS                    PORTS                                NAMES
4b92b8f5ff16   bitwarden/nginx:1.38.2             "/entrypoint.sh"       2 minutes ago Up 2 minutes (healthy) 80/tcp, 0.0.0.0:80->8080/tcp, 0.0.0.0:443->8443/tcp bitwarden-nginx
b68c1df89320   bitwarden/portal:1.38.2            "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 2 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-portal
5731d5d966df   bitwarden/admin:1.38.2             "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 2 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-admin
0703a3bee3fd   bitwarden/identity:1.38.2          "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-identity
2000bd327f60   bitwarden/api:1.38.2               "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-api
523644f15d2f   bitwarden/web:2.17.1               "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-web
72e1lccc7d22   bitwarden/attachments:1.38.2       "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-attachments
4b6ad71a6c5c   bitwarden/sso:1.38.2               "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-sso
9e0e8cb75b29   bitwarden/events:1.38.2            "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-events
d91eff6f324f   bitwarden/notifications:1.38.2     "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-notifications
4ed457418a79   bitwarden/mssql:1.38.2             "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-mssql
feca5a34b02c   bitwarden/icons:1.38.2             "/entrypoint.sh"       3 minutes ago Up 3 minutes (healthy) 5000/tcp bitwarden-icons
bitwarden@bitwarden:/opt/bitwarden$
```

docker-healthy.png

おめでとうございます！Bitwardenは現在、<https://your.domain.com>で稼働しています。それが機能していることを確認するために、ウェブブラウザでウェブ保管庫を訪れてください。

あなたは今、新しいアカウントを登録してログインすることができます。新しいアカウントのメールアドレスを確認するためには、`smtp`環境変数を設定する必要があります（[環境変数](#)を参照してください）。

Tip

デプロイしたら、定期的にサーバーのバックアップを取ることと、システムの更新を確認することをお勧めします。

次のステップ：

- Bitwarden組織を自己ホスト型で運用する予定がある場合は、[組織を自己ホストする](#)を参照して開始してください。
- 詳細情報は、[自己ホスト型FAQ](#)をご覧ください。

スクリプトコマンド参照

Bitwardenのインストールスクリプト（`bitwarden.sh`または`bitwarden.ps1`）には、以下のコマンドが利用可能です：

Note

PowerShellのユーザーは、接頭辞として`-`（スイッチ）を付けてコマンドを実行します。例えば、`.\bitwarden.ps1 -start`。

コマンド	説明
インストール	インストーラーを開始してください。
開始	すべてのコンテナを開始します。
再起動	すべてのコンテナを再起動します (スタートと同じ)。
止まって	すべてのコンテナを停止します。
更新	すべてのコンテナとデータベースを更新してください。
updatedbを更新する	データベースを更新/初期化します。
アップデート実行	<code>run.sh</code> ファイルを更新してください。
自分自身を更新する	このメインスクリプトを更新してください。
アップデート設定	実行中のインスタンスを再起動せずに、すべてのコンテナを更新してください。
アンインストール	<p>このコマンドが実行される前に、データベースファイルの保存を求めるプロンプトが表示されます。 <code>y</code> は、最新のバックアップを含むデータベースのtarファイルを作成します。</p> <p>コンテナを停止し、<code>bwdata</code> ディレクトリとそのすべての内容を削除し、一時的なボリュームを削除します。実行後、Bitwardenのすべてのイメージもパージしたいかどうか尋ねられます。</p>
ログを圧縮する	<p>すべてのサーバーログのターボールをダウンロードするか、指定した日付範囲のサーバーログのターボールを現在のディレクトリにダウンロードします。</p> <p>例えば、2024年3月4日から2024年3月5日までのログをダウンロードするには、<code>./bitwarden.sh compress logs 20240304 20240305</code>を使用します。</p>

コマンド	説明
証明書を更新する	証明書を更新します。
再建する	<code>config.yml</code> から生成されたインストールアセットを再構築します。
助けて	すべてのコマンドをリストします。